

Durch die Augen von Hitoshi Kobayashi

小林仁の眼差し Vol.5

～ 小林仁編曲 重唱による日本歌曲 & 小林仁作曲 ピアノソロ作品～



ソプラノ 松原 みなみ
メゾ・ソプラノ 花房 英里子
テノール 松原 友
バリトン 石崎 秀和

【第1部】 ～小林仁編曲 重唱による日本歌曲～

荒城の月, 花 竹村 浄子
かやの木山, 曼珠沙華 岡本 祥子
母のこえ, 野ばら 久住 晶子
中国地方の子守唄, まちぼうけ 加納 文子
行々子, みほとけは 野山 真希
九十九里浜, 平城山 服部 真由子
百姓唄, お菓子と娘, 出船の港 富士 素子

【第2部】 ～小林仁作曲 ピアノソロ作品～

【音のスケッチ】 (こどものためのピアノ曲集) より
見知らぬ国の民謡, クラコフの思い出 佐々木 有紀
ワルツへの前奏曲, フランス人形のワルツ... 中津留 絵里加
秋の夕暮れひとりものを思う, きつつきのうた... 飯野 明日香

【アルバム・プレッター】 (17のピアノ小品集) より
ゆううつな前奏曲, ブレスク 佐伯 周子
メロディ, ソナチネ1番 草 冬香
トッカータ, フーガ 末松 茂敏

【J.S.バッハ：チェロ組曲 第5番】より
アルマンド, ジーグ (左手だけのための編曲) 小坂 圭太

「おぼろ月夜」の主題による六つの変奏曲 金澤 佳代子
「ふるさと」の主題による古典的な七つの変奏 児嶋 一江

【第3部】 ～小林仁編曲 重唱による日本歌曲～

真珠, 椰子の実 田中 明美
野の羊, 浜辺の歌 尾池 真生子
五木の子守唄, 時雨の頃 村松 恵子
初恋, ちんちん千鳥 高木 裕美
道しるべ, 宵待草 本家 規代
夏の思い出, 風の子供 高木 早苗
またある時は, たんぼぼ 岡原 慎也
さくら横ちょう, 木兎 千葉 ゆかり

2023年 11月18日(土)

開演15時 (開場14時半)

音楽の友ホール

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30
東京メトロ東西線 神楽坂駅1番出口から徒歩1分

全席自由：4,000円

【お問い合わせ】 k.pianostudy@gmail.com

◆チケットお申し込み方法

①ご氏名 ②ご希望枚数 ③チケット送付先
を明記の上、メールにて事前にお申し込みください。
先着順に承り満席になり次第受付を終了いたします。

主催：k.pianostudy

後援：株式会社 河合楽器製作所 / 三木楽器開成館 / 日本ショパン協会 / 公益財団法人 日本ピアノ教育連盟
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ) / 洗足学園音楽大学
札幌大谷大学 / 名古屋音楽大学 / 東京藝術大学音楽学部同声会



ピアニスト、指導者という枠にとどまらない小林仁。米寿を目の前にして、創作意欲は増しているようだ。このコンサートでは、作曲家・編曲家としての小林仁の軌跡を、氏のもとで育ったピアニストたちの演奏で迎える。

「J.S.バッハ:チェロ組曲第5番より、アルマンドとジグ(左手だけのための編曲)」は今回のために書き下ろされた。

【小林仁編曲 重唱による日本歌曲全31曲】は、今年5月、大阪初演で成功を取めた。いよいよ東京初演を迎える。

Profile



小林仁 *Kobayashi Hitoshi*

1936年三重県四日市市に生まれる。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。第25回日本音楽コンクールピアノ部門第一位特賞。1960年第6回 ショパン国際コンクールでファイナリスト、奨励賞受賞。ドイツ、バイエルン州政府給費奨学生として、ミュンヘン音楽大学に約3年半留学。ピアノ演奏活動の業績は、リサイタル活動の傍ら40曲以上のピアノコンチェルト、もしくはピアノとオーケストラのための作品をN響はじめ、国内外の多数のメジャーオーケストラと共演。室内楽活動として、ピエールフルニエ、ヨゼフスーク、ミシェル シュバルベなど世界第一級の演奏家との共演も多い。現代音楽の初演、再演にも多く関わり、軽井沢の現代音楽祭で演奏したピエール ブレーズの第一ピアノソナタ本邦初演が高く評価されて20世紀音楽研究所賞を受賞。指揮、作曲、編曲の分野でも業績を残したが、特に編曲に関しては幼少時から生涯にわたってさまざまな形で関わり続けた。教育者としては、東京藝術大学教授、その他の音楽大学で多くの俊才を育てた。門下生からは国内、国際コンクールに多数の優勝者、受賞者を輩出。浩宮殿下(現 今上天皇)には約3年にわたりピアノをご進講。

日本音楽コンクール、ショパン国際コンクール、ジュネーヴ国際コンクールなどの審査員も務めた。

2010年 ショパン生誕200年記念の年に際し、ポーランド政府よりアルティス グロリア金勲章を授与される。2016年瑞宝中綬章を叙勲。日本ショパン協会会長、(公財)日本ピアノ教育連盟会長、札幌大谷大学芸術学部長などを歴任。現在、東京藝術大学名誉教授、札幌大谷大学名誉教授、洗足学園音楽大学特別教授、昭和音楽大学客員教授、(公社)日本演奏連盟常任理事、日本アルバンベルク協会常任理事。

松原 みなみ *Matsubara Minami* (ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程(独唱)、博士後期課程(独唱)修了。博士号(音楽)を取得。ウィーン国立音楽大学オペラ科を審査員満場一致の首席(最優秀)修了。第24回友愛ドイツ歌曲コンクール一般の部第二位ならびに、日本歌曲賞受賞。Jan Kiepura国際声楽コンクールR.シュトラウス賞受賞。第26回コンセル・マロニエ21第三位。第91回日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)第一位、ならびに木下賞、畑中賞、E.ナカミチ賞受賞。

花房 英里子 *Hanafusa Eriko* (メゾ・ソプラノ)

京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻首席卒業。東京藝術大学大学院独唱専攻修了。飯塚新人音楽コンクール第一位、東京音楽コンクール第二位、併せて聴衆賞、松方ホール音楽賞奨励賞を受賞。これまでに、『第九』、『マタイ受難曲』、『復活』等のアルト独唱者の他、オペラでは『アルチーナ』ルッジェーロ役、『蝶々夫人』スズキ役等を務める。東京二期会会員。

松原 友 *Matsubara Tomo* (テノール)

東京藝術大学卒業。同大学院修了。ロームミュージックファンデーション、野村財団奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。第14回松方ホール音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞(聴衆賞)、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。東京藝術大学、京都市立芸術大学、武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、大阪教育大学、夕陽丘高校、相愛高校各非常勤講師。東京二期会会員。

石崎 秀和 *Ishizaki Hidekazu* (バリトン)

日大芸術学部音楽学科声楽コース卒業。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科修了。東京芸術大学大学院博士課程修了。博士号(音楽)を取得。2007年から1年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。オーストリア、バーデン市開催のドナウレンダー国際夏期アカデミーコンクール第1位、第11回日本モーツァルト音楽コンクール第3位等受賞。現在、東京学芸大学准教授。日本演奏連盟、二期会会員。